

7福祉事業所に移送サービスカーを寄贈

東日本大震災復興支援 中外製薬創業90周年記念 福祉事業移送サービスカー寄贈式

7月1日に中外製薬株式会社（永山治 代表取締役会長最高経営責任者）より、移送サービス用福祉車両を寄贈いただきました。

同社は、社会貢献活動の一環として、1985年に創立60周年記念事業として福祉車両の寄贈を開始して以来、30年にわたり全国の社会福祉施設や団体に寄贈を続けており、寄贈車両台数は200台に達しています。

今回は、創業90周年事業として、被災地を含む東北6県に合計30台の車両が寄贈され、岩手県にはそのうち7台が贈られました。車両は、二つの高い軽自動車タイプで、車両後部には車いすのままで乗車できます。

ふれあいランド岩手で行われた寄贈式では、同社の上野幹夫副会長か



中外製薬株式会社の上野幹夫副会長から7団体に目録が贈られました

ら、各団体に目録が贈られました。寄贈いただいた福祉車両は、岩手県社会福祉協議会を通じ、県内の社会福祉協議会やNPO法人に贈られ、高齢者や障がい者の外出支援等に活用されます。



移送サービスカー寄贈式

九戸村社協に福祉活動車両を贈呈

「エフエム岩手第30回歳末チャリティーオークション」収益金による福祉活動車両贈呈式

7月13日（月）にエムエム岩手（村憲正代表取締役社長）は、岩手県共同募金会を通じ、九戸村社会福祉協議会（木村正樹会長）に福祉活動車両を寄贈しました。

同社は、昭和60年から歳末チャリティーオークションの収益金等による車両贈呈を開始し、今回で30回目となりました。現在も「エフエム岩手」のロゴが入った車両が県内各地で活躍しています。

村田代表取締役社長からは、「歳

末チャリティーオークションを30回続けてこられたのは、温かい善意を寄せていただいた県民の皆様、会場提供や協賛をいただいたスポンサー各社様のおかげであり、皆様に感謝申し上げたい。支局を開設した九戸村で福祉車両が活用されるのは嬉しい」と挨拶があり、木村会長からは、「記念すべき30回目のオークションによる車両贈呈は大変ありがたく、村の福祉推進のため役立てたい」旨の謝辞がありました。

車両は同村で福祉活動車両として活用されます。



福祉活動車両贈呈式

岩手県社会福祉協議会「わんこきょうだいトートバッグ」で希望郷いわて国体・いわて大会を応援しよう!! 共同受注センター



共同受注センターってなに？

平成22年度から取り組んできた障がい者福祉施設授産製品取扱い事業を、新たに自主運営による共同受注センターとして実施するもので、平成27年4月から事業を開始しました。障がい者福祉施設の商品販売や、役務・請負作業の受託を行っています。詳細は共同受注センターホームページ (<http://www.iwate-selp.net/about>) へ。

共同受注センターでは、「わんこきょうだいトートバッグ（国体バージョン）」を障がい者福祉施設に依頼して作成しました。

「第71回国民体育大会希望郷いわて国体」「第16回全国身体障害者スポーツ大会希望郷いわて大会」のボランティア用のグッズとして作成したものですが、広く県民の皆様に販売できることになりました。図柄は2種類、サイズは容量10ℓ（W36cm、H37cm、D11cm）と、容量20ℓ（W48cm、H40cm、D15cm）の2種類です。10ℓは1個1,200円（税込）、20ℓは1個1,300円（税込）で販売します。

「わんこきょうだいトートバッグ」で、希望郷いわて国体・いわて大会を応援しませんか。

●お問い合わせ先

共同受注センター（岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援部）

☎ 019-601-7031

岩手県総合防災訓練に災害派遣福祉チームなどが参加



災害派遣福祉チームの模擬アセスメント



災害派遣福祉チームの市町村への報告と移送先手配の依頼



災害VC支援受付



災害VC支援地域の確認

35名が6チームに分かれ 奥州市と金ヶ崎町で活動訓練

「大雨による北上川の氾濫・住宅等の浸水」「地震による土砂災害・ライフライン不通・建物の一部損壊」を想定した、岩手県総合防災訓練(県など主催)が、7月12日(日)に奥州市と金ヶ崎町で実施されました。

岩手県災害派遣福祉チームからは35名が参加。チーム員は6チームに分かれ、奥州市内・金ヶ崎町内の避難所に集合。避難している方の中で介護や見守りが必要な方を見分け、別室確保などの応急的環境整備やケア、他施設への搬送などのコーディネートを行う活動訓練を行いました。

近隣市町村社協職員が参加し 広域支援の訓練



災害派遣福祉チームとモデル役の隊友会のみなさん

災害ボランティアセンター設置・運営訓練では、今回初めて近隣の市町村社協職員に参加いただき、広域支援の訓練を行いました。

これは東日本大震災や平成25年度の豪雨・大雨災害時の経験から、今後は被災地の市町村社協と支援社協、県社協の連携によるボランティアセンターの設置・運営とすることが効果的であることを踏まえたものです。

今回は、奥州市社協災害ボランティアセンターには一関市社協職員に、金ヶ崎町災害ボランティアセンターには北上市社協職員に参加いただきました。

併せてモバイル機器を活用して、現地本部から県社協へ情報集約訓練を行いました。

約1万人が参加した訓練では、住民や防災関係機関職員などにより、水害や地震発生時の初動対応や避難対策などが確認されました。

岩手県災害派遣福祉チームとは

介護福祉士などの福祉専門職が、研修修了後にチーム員として登録され、大規模災害発生時に4~6人でチームを編成。避難所等において要援護者などの支援活動を行う。

チームの派遣主体は、岩手県災害福祉広域支援推進機構(本部長=岩手県知事)

寄付

皆様のご支援 ありがとうございました

東日本大震災の被災地などのため、多くの企業・団体・個人の方からご支援をいただき、深く感謝申し上げます。(順不同・敬称略)

- 名郷根 法育 1,000円
- 名郷根 和博 1,000円
- 名郷根 博明 1,000円
- 株式会社ブリッジ 55,553円
- 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 福祉会 175,000円
- ライオンズクラブ国際協会330-A地区 東日本復興支援委員会 537,300円

みなさん、気を付けて!!

金融犯罪被害防止等 のための 出前講座

東北財務局盛岡財務事務所では、地域のコミュニティ活動や各団体の会合などで、金融犯罪被害に巻き込まれないよう、日頃から注意していただきたい内容などをわかりやすく説明しています。

お問い合わせ先

東北財務局盛岡財務事務所
理財課 ☎019-625-3353
盛岡市内丸7-25 盛岡合同庁舎内

講座メニュー

- 未公開株やファンドなどを騙る怪しい投資勧誘にご用心
 - 振り込め詐欺や還付金詐欺、ヤミ金融等の手口と対策
 - 多重債務に陥らないためになど
- 講演料は無料です。お気軽にお問い合わせください。

